学校番号	1101

令和２年度　書道科

教科	書道	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１・２年次
使用教科書	書道Ⅰ　（光村図書出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・中学の書写学習が出来ていない生徒が多いので、まずは書写と書道の相違を感じ、これからの学習への関心・意欲を高める
・古典から様々な書体を学ばせ、書き味の違いを知り、表現することの楽しみを深めます。

２　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書表現の諸要素を感受し、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し表現を工夫している。	創造的に書表現をするために、書の効果的な表現の技能を身につけ表している。	文字や書の伝統と文化について、幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	作品への取り組み方 提出作品 準備の心構え 後かたずけ 鑑賞活動	ワークシート 作品への取り組み方 制作途中の作品 提出作品	制作途中の作品 提出作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	漢字の書	・書道の世界にふれよう ・漢字の書体の変遷を知ろう ・楷書を学ぼう 「孔子廟堂碑」	○ ○	○ ○	 ○ ○	 ○ 	a:書道に関心をもち意欲的 b:多様な表現に関心がある c:書体の変遷を理解している d:書風の変化に関心をもち意欲的・主体的である	・学習活動の様子 ・創作の様子 ・作品
		「九成宮醴泉銘」 「雁路聖教序」 「顔氏家廟碑」 ・行書を学ぼう 「蘭　亭　序」 「風　信　帖」	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○		a:古典の表現技法に関心をもち、その美しさを味わおうとしている b:古典の特徴を理解し、字形や書風を捉え、表現を工夫している c:古典の用筆、運筆の技法を習得し表現に生かしている	同上
		・草書を学ぼう 「真草千字文」	 ○	 ○	 ○		a: b:　同上 c: d:	同上
後期	隷書・篆書	・隷書を学ぼう 「曹　全　碑」 ・篆書を学ぼう 「泰山刻石」	 ○ ○	 ○ ○	 ○ ○		a: b:　同上 c: d:	同上
	篆刻	・篆刻を楽しむ	○	○			a:篆刻について興味・関心をもっている b:篆刻が書作品や日常生活で果たしている役割を理解している c:仮名の表現方法に関心をもっている d:仮名の用筆・運筆の技法を習得し表現に生かしている	同上
	仮名の書	・仮名を学ぼう 「蓬莱切」 「高野切第三種」			 ○ ○	 ○ ○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。